

中通小学校の体験林業を開催しました

令和8年9月25日（金）、秋田市立中通小学校の5年生児童34名を対象に、大仙市協和船岡の大川前国有林で体験林業を開催しました。

秋田県緑化推進委員会・秋田県森の案内人協議会メンバーと東北森林管理局・秋田署職員が待つ会場へ到着した後、ヘルメットに防蜂網を装着し、除伐の目的や手順、鎌の扱い方を学んでいよいよ体験のスタートです。

まずはスギが真っ直ぐに伸びるように、絡んだツルを外します。安全のためスタッフの指示どおりに間隔をあけ、何回か交代しながらスギを傷付けないように作業を進めていきます。

このように協力しながらツルを外し、下草や灌木を刈り払って満足げな表情を浮かべた児童たちは、サプライズで飛来したドローンにビックリ。作業を終えてきれいになったエリアでの記念撮影は大盛り上がりでした。

昼食後は、伏伸（ふのし）の滝周辺の清流沿いを散策し、笹舟作りを教わったり、アケビの実を見つけたりして自然の素晴らしさに触れる時間を過ごしました。

閉会式では2名の児童から「スギの世話は思った以上に力仕事で疲れた。でも頑張ったら達成感があることを学んだ」「今日の体験で自然が好きになった」との感想が出されるなど、実践的で思い出に残る体験林業になったようです。



真剣な眼差しでツルと格闘する児童



下草も刈ってスッキリと



ドローンで記念撮影(^^)v



カマキリが離れてくれないんです(;´∀`)